

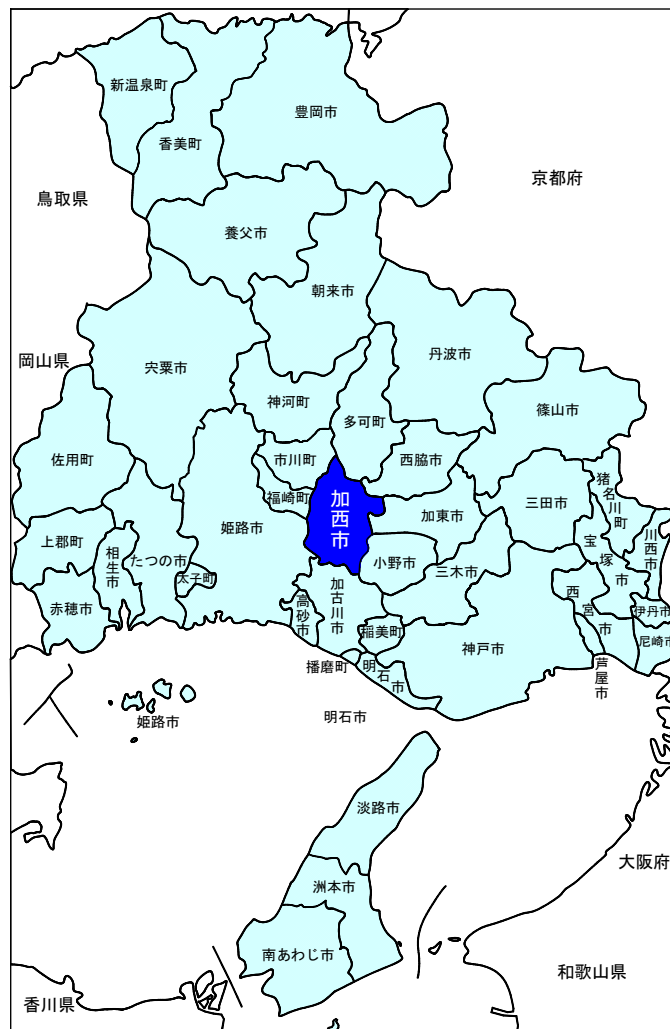
第2章 加西市における環境の現状と課題

1 地域概況

(1) 位置

加西市は、兵庫県の南部、播州平野のほぼ中央に位置しています。市域面積は 150.22km² で、東西 12.4km、南北 19.8km の広がりを持ち、東は小野市及び加東市に、西は姫路市及び福崎町に、南は加古川市に、そして北は西脇市、多可町及び市川町にそれぞれ隣接しています。

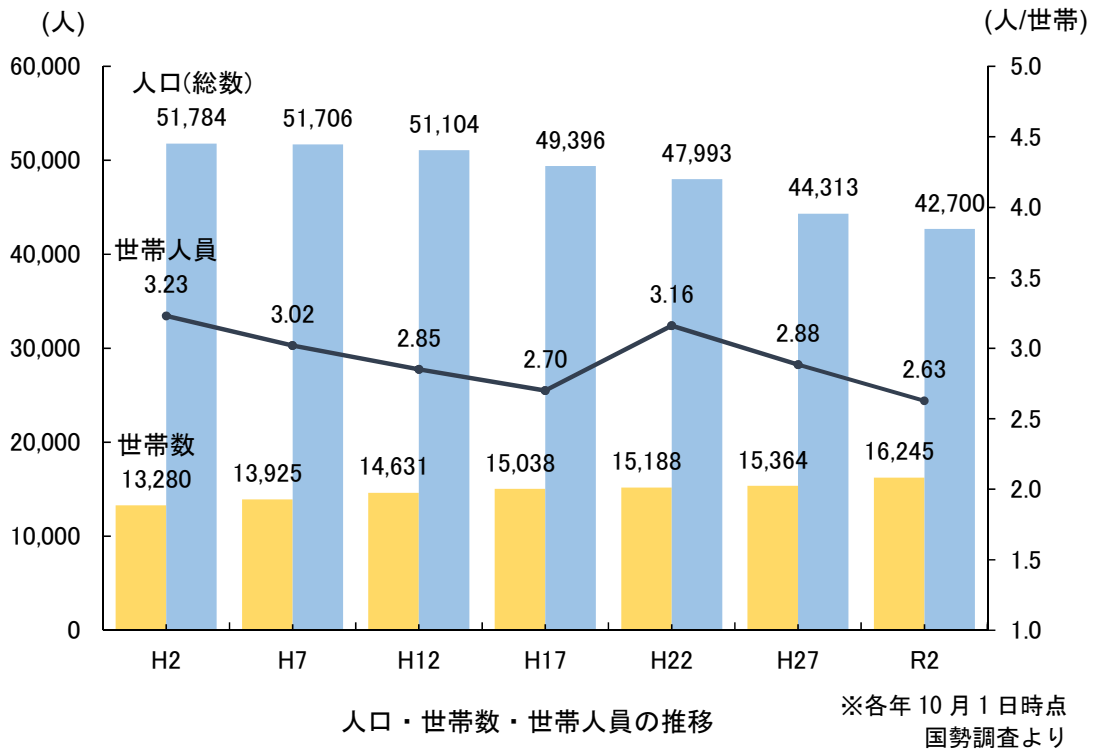
中国自動車道や山陽自動車道の国土幹線が通過し、大阪から自動車ですぐアクセスの良い場所です。大都市近郊にありながら、日本の原風景というべき田園やため池、里山に恵まれた環境の良い土地です。



位置図

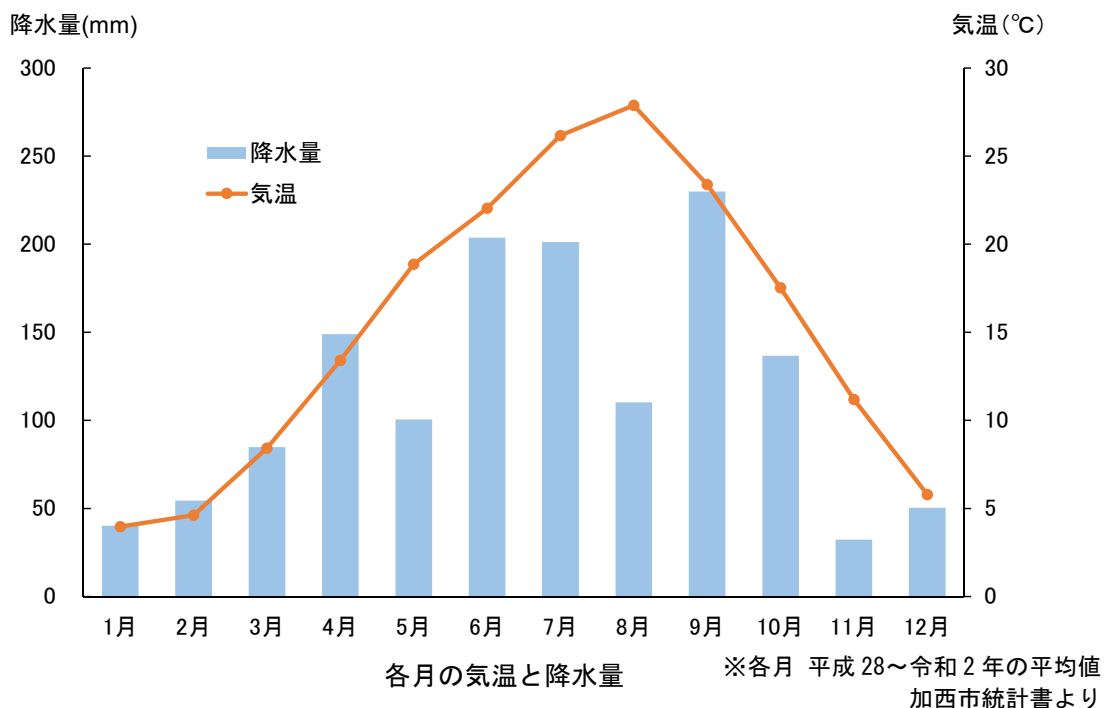
(2) 人口

国勢調査結果によると、加西市の人口は平成27年から令和2年にかけて1,613人減少し、42,700人となっています。世帯数は同じ時期で881世帯増加し、16,245世帯となっています。世帯人員（1世帯あたりの人数）は平成22年度以降減少しています。



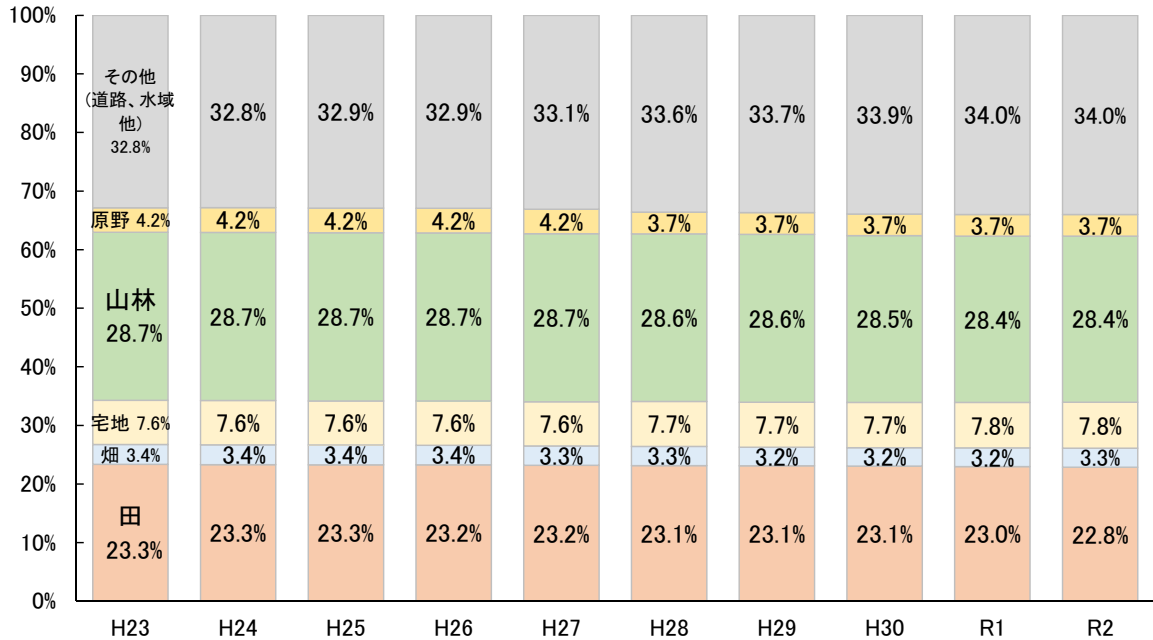
(3) 気候

瀬戸内式気候に属しており、晴れの日が多く一年を通じて温暖なことが特徴です。瀬戸内海を囲む中国・四国の山地が夏冬の季節風をさえぎるため、一年を通じて雨が少ない気候です。



(4) 土地利用

加西市の土地利用の比率については、山林が約28～29%、農地(田・畑)が約26～27%で、両者ともに減少傾向で推移しています。



土地利用状況の推移

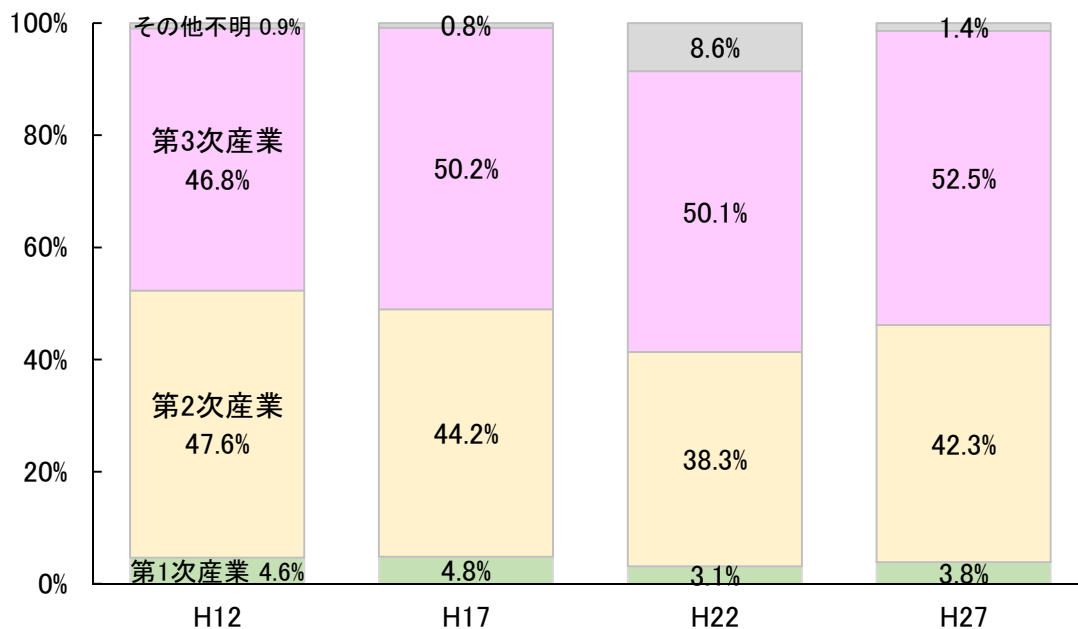
加西市統計書より



ランドマーク展望台からの景色

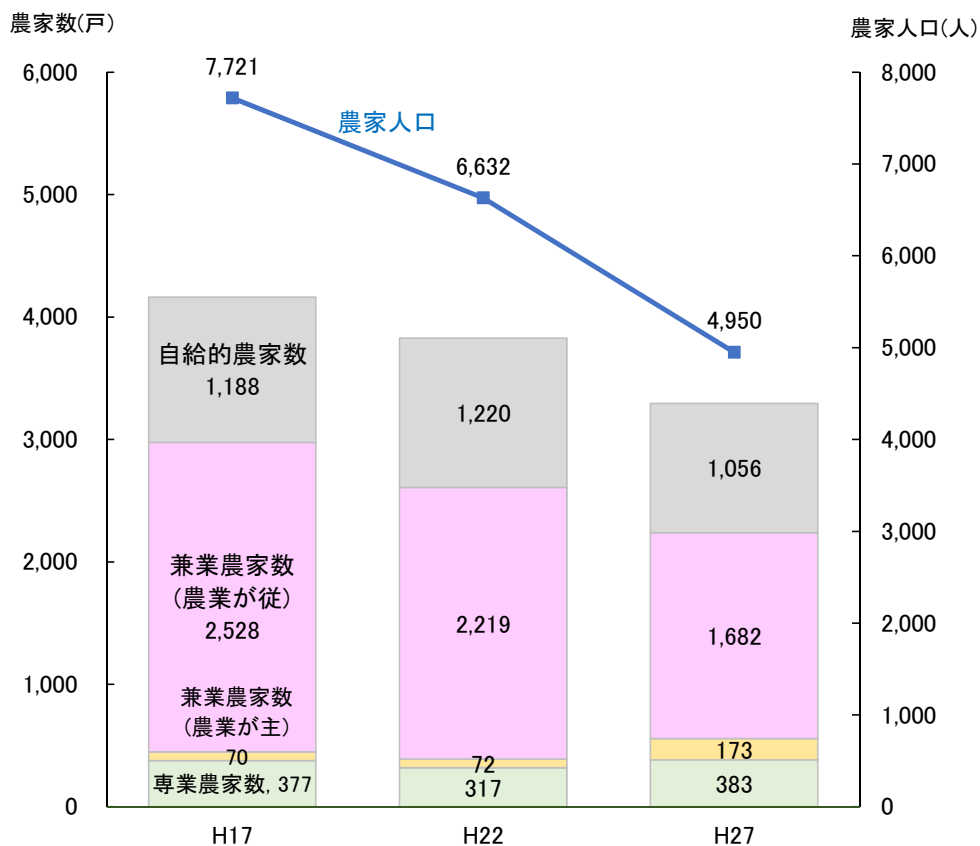
(5) 産業

平成27年国勢調査結果によると、加西市の就業者数は21,113人で、第1次産業が809人(3.8%)、第2次産業が8,935人(42.3%)、第3次産業が11,082人(52.5%)、その他不明287人(1.4%)となっています。第1次産業の割合が最も低く、特に農業については農家数及び農家人口の減少も顕著となっています。



産業構成の推移

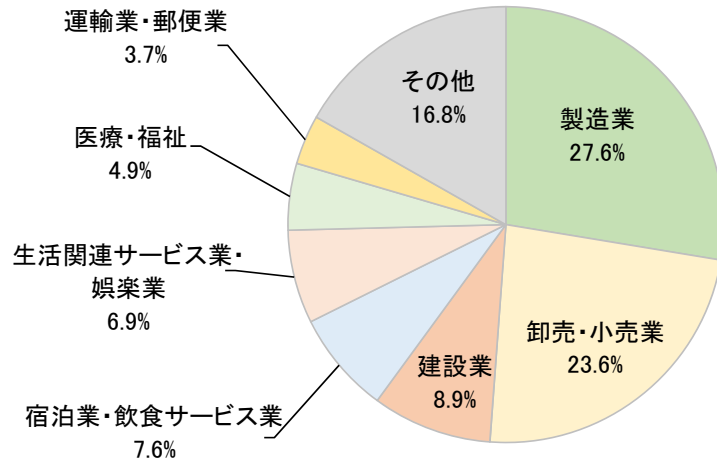
※各年10月1日時点
国勢調査より



農家人口と農家数の推移

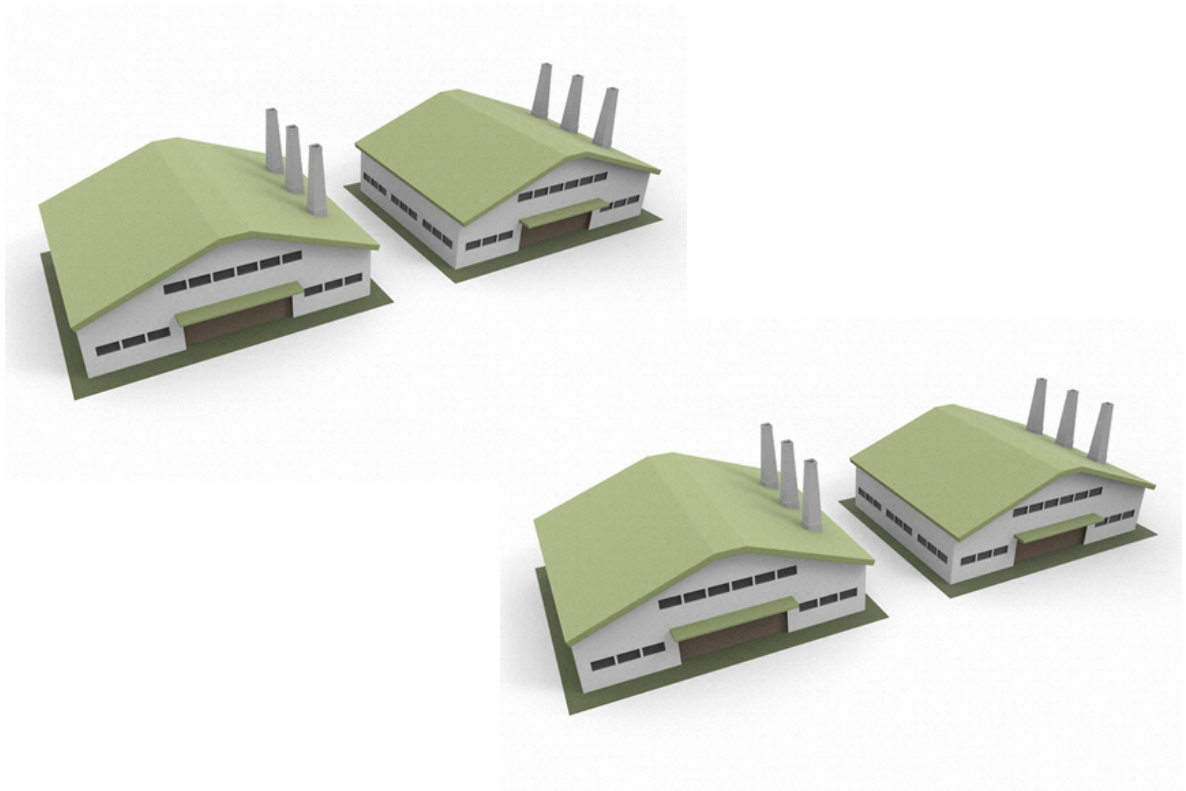
※各年2月1日時点
農林業センサスより

加西市に立地する事業所の割合は、製造業が27.6%と最も高く、次いで卸売・小売業が23.6%となっています。



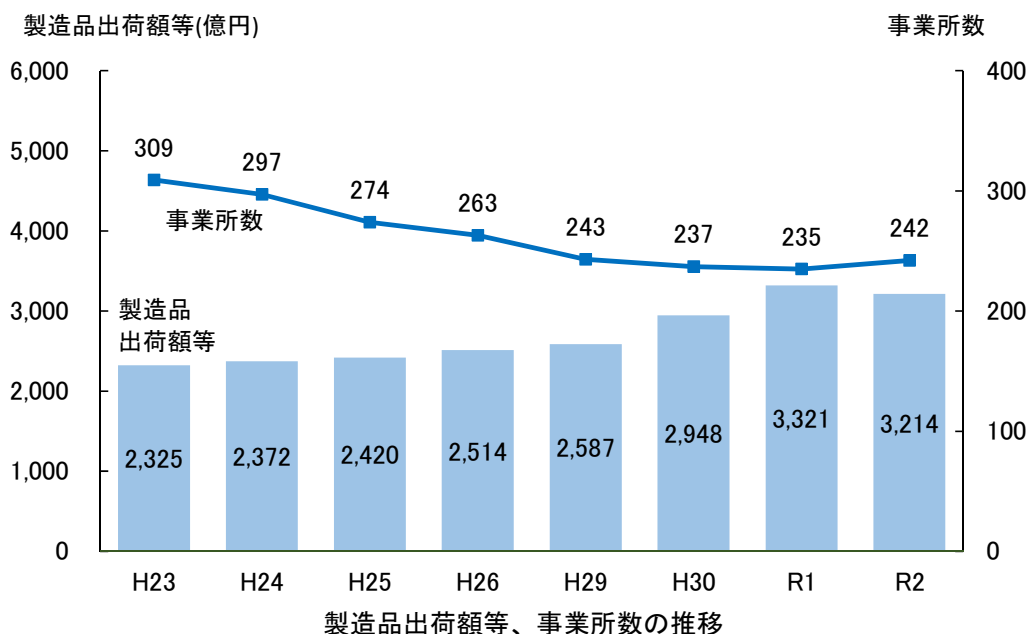
事業所の産業分類比率

※平成28年6月1日時点
平成28年経済センサス活動調査より



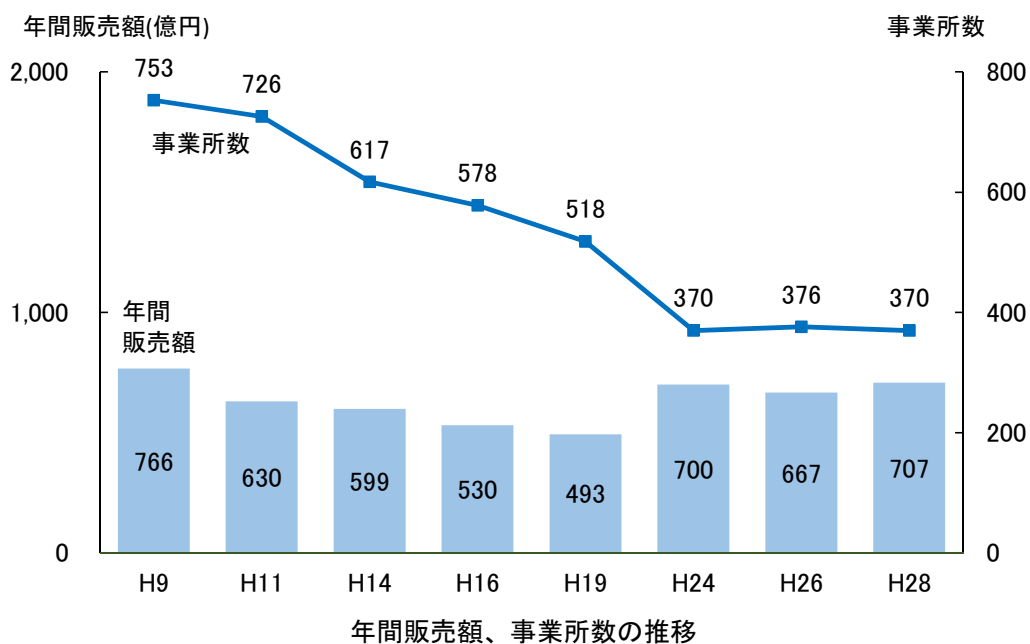
工業における事業所数は減少傾向にありましたが、令和2年にやや増加しています。一方、製造品出荷額等は増加傾向にありましたが、令和2年にやや減少しています。

また、商業における事業所数及び年間販売額は平成24年以降、ほぼ横ばいで推移しています。



※平成23～26年は12月31日時点、
平成29～令和2年は6月1日時点
※4人以上の事業所のみ対象

工業統計調査より

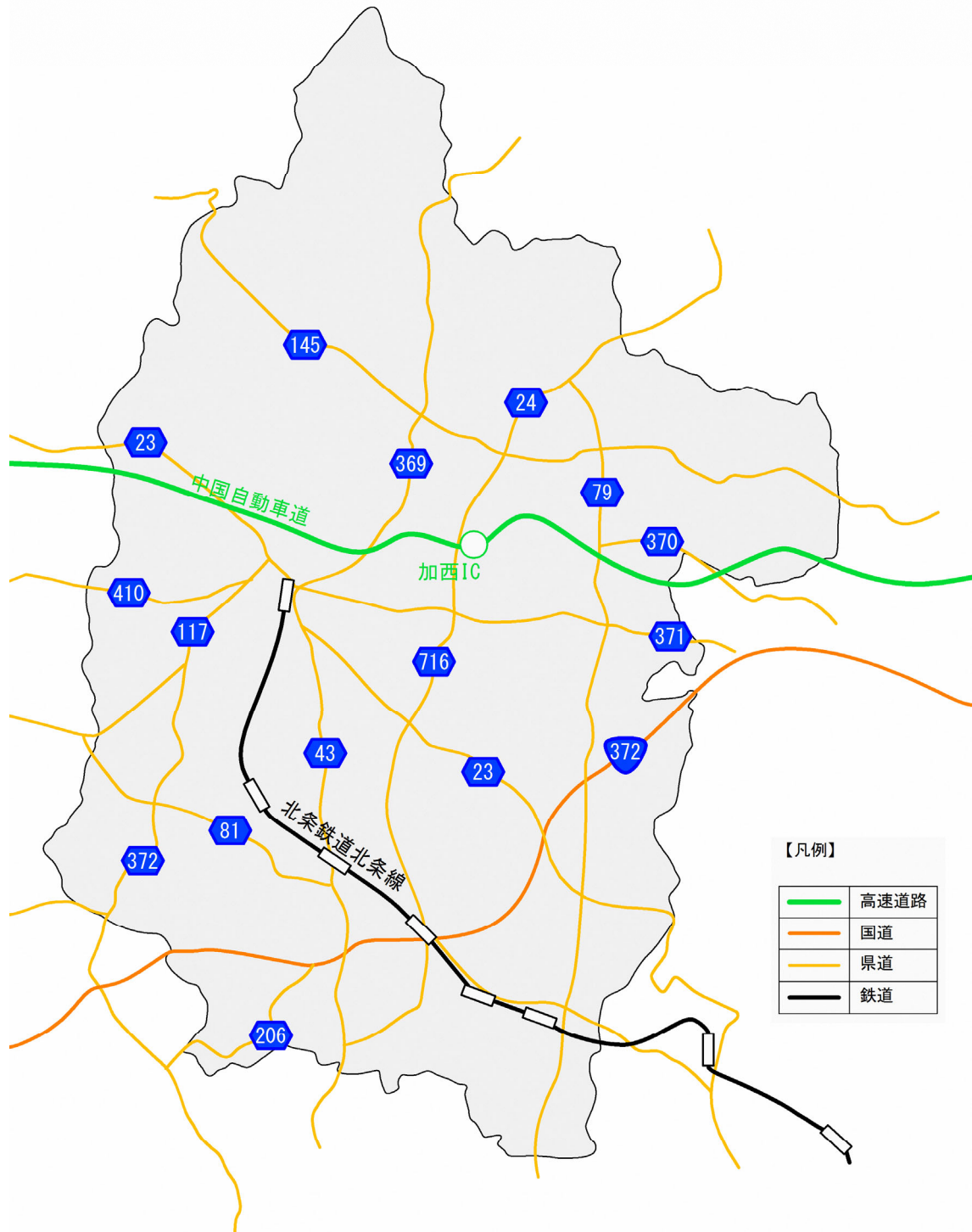


※平成9～19年、平成28年は6月1日時点、
平成24年は2月1日時点、
平成26年は7月1日時点

商業統計調査
経済センサス活動調査より

(6) 交通

中国自動車道が市域を横断し、市域の東部から南部にかけて国道 372 号が走っています。北条地区を中心点とするように県道が広がっています。また、市域の南北を北条鉄道が通り、市民の足として親しまれています。



主要幹線道路と北条鉄道